

東京大学大学院教育学研究科 基礎学力研究開発センター
第3回基礎学力シンポジウム「日本の基礎学力：現状と展望」
開催のお知らせ

平成 16 年 12 月

基礎学力研究開発センター
センター長・教授 金子元久

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

わたくしども東京大学大学院教育学研究科基礎学力研究開発センター(文部科学省 21 世紀 COE プログラム)は、平成 14 年度に設立されて以降、研究課題である「基礎学力育成システムの再構築」に取り組んでおります。

学校教育を直接の対象とする COE は全国で本センターのみであり、私どもは学術的な研究だけではなく、日本の基礎学力の向上に努力を重ねておられる全国の自治体や学校関係者、国内外の大学の研究者との連携をもとに、実践的な寄与を行うことを重要な使命と考えております。

本センターの活動の一環として、来る 1 月 8 日(土)～9 日(日)に第 3 回目の基礎学力シンポジウム「日本の基礎学力：現状と展望」を開催する運びとなりました。詳細につきましては、別途資料あるいは次の URL をご参照下さい。

http://www.p.u-tokyo.ac.jp/coe/sympo_j.htm

貴誌への記事掲載方、どうぞよろしくお願いいたします。

敬具

第3回 基礎学力シンポジウム 実施要綱

日時：

2004年1月8日（土）13：30～17：00 ～ 9日（日）9：30～13：00

場所：

東京大学本郷キャンパス 鉄門記念講堂（医学部教育研究棟 14F）

タイトル：

日本の基礎学力：現状と展望

日程：

第一日：1月8日（土） 13：30～17：00

「国際学力調査をどう受けとめるか」

司会：秋田喜代美

- | | |
|-------------|------------|
| ・学校教育学の立場から | 佐藤 学（東京大学） |
| ・教育心理学の立場から | 市川伸一（東京大学） |
| ・比較教育学の立場から | 恒吉僚子（東京大学） |

第二日：1月9日（日）9：30～13：00

「基礎学力形成における国と地域」

司会：勝野正章

- | | |
|------------------|----------------------|
| ・基礎学力形成における国と地域 | 小川正人（東京大学） |
| ・市町村の取り組み：全国調査から | 青木栄一（国立教育研究所） |
| ・犬山市の取り組み | 中嶋哲彦（犬山市教育委員会） |
| ・教育改革の現実 | 荻谷剛彦（東京大学） |
| ・教育行政からの視点 | 前川喜平（文部科学省初等中等教育企画課） |

アブストラクト：

- 最近発表された PISA、TIMSS の国際学力測定の結果で日本の子供の達成度がこれまでより低く現れたことが反響を呼んでいます。他方で義務教育国庫補助金の自治体委譲も大きな政治的課題となりました。
- 日本の基礎教育は今、大きな曲がり角にあることは確実です。しかし学力ランキングでの順位だけに注目した単純な危機論や、単純な地方委譲論などは、日本の基礎学力育成のかかえる深い問題をむしろ歪曲してしまう恐れもあるのではないのでしょうか。
- 学力国際比較から受けとめるべきものは何なのか。また地方のイニシアティブを活かしつつ、日本全体の学力育成システムを再構築するためには何が必要なのか。こうした問題を広い視野から議論するシンポジウムです。

問合せ先・参加申し込み先：

東京大学大学院教育学研究科 基礎学力研究開発センター

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-1398 FAX：03-5841-1400 E-mail：coe@p.u-tokyo.ac.jp

ホームページ：http://www.p.u-tokyo.ac.jp/coe/

参加費：

無料（一般公開）